

会議の概要
議長

定刻になりましたので、ただ今から令和元年 5 月第 3 回総会を開会いたします。開会時間は午後 2 時 36 分です。なお本日の会議において農業委員会等に関する法律第 29 条により農地利用最適化推進委員の出席を求めています。本日は議席番号 10 番、安藤委員より欠席の連絡を受けております。出席農業委員会委員は 14 名中 13 名で、定員数に達しておりますので、総会は成立しております。出席を求めた農地利用最適化推進員の出席人数は 9 名です。それではただいまより総会を開会いたします。おねがい事項として、質疑等は挙手の後、許可を得て起立して、議席番号、氏名を名乗ってから行うようお願いいたします。次に、携帯電話はマナーモードに設定し、緊急以外は通話しないをお願いいたします。

それではこれより審議にはいります。

まず、日程 1 議事録署名委員の指名に移りますが、今月は議席番号 5 番小林委員と、議席番号 6 番田端委員をお願いいたします。

それでは日程 2 議案第 1 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」を上程いたします。申請番号 1 番について事務局より説明をお願いいたします。

事務局

はい。事務局よりご説明いたします。議案第 1 号農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請書審議について「申請人より農地法第 3 条の規定による許可申請があったので、その適否を諮る」とのことです。

農地法第 3 条許可申請についての審議は今年度初となりますので、まずその概要について説明させていただきます。農地の売買、贈与、賃借などには農地法第 3 条に基づく農業委員会の許可が必要です。簡単にいうと農地法第 3 条は土地利用が農地のまま変わらず、権利の変更のみ行うという申請です。その権利移動の際に農業委員会の許可を必要としています。3 条の案件の許可権者は農業委員会会長になりますので、この総会で許可決定しますと、そのまま許可となり、所有権の変更ができることになります。

それでは申請番号 1 番について説明しながら、許可基準についてご説明していきます。

(議案書を朗読)

事務局

農地を取得するには許可要件がございます。その要件について別紙で確認をしていきます。農地を取得するにあたり基準となってくる 5 つの要件がございます。

(要件読み上げ)

今回の申請の記載事項の内容から、許可要件のうち「農作業常時従事要件」は年間 150 日以上を超えており、また、「下限面積要件」については、八和田地区の要件である 50a (5,000 m²) を超えていることから、この 2 つの要件は満たすと考えます。

残りの 2 要件、申請農地を含め申請者が経営している農地について、すべて効率的に利用していることという「全部効率利用要件」、周辺の農地利用に影響を与えないことという「地域との調和要件」につきまして、八和田地区委員さんの現地調査報告で確認をお願いします。

以上、説明とさせていただきます。

議長

ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。

12番大澤委員	<p>はい。12番大澤が報告します。5月24日金曜日8時に農業委員5名、推進委員3名、計8名で現地調査をいたしました。現地で受人の説明を受け、該当地は果樹が植わってありました。受人の田畑はきちんと耕作されており、担当地区としては問題なしと思います。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございました。それではこれより申請番号1番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手なし)</p>
議長	<p>ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。</p> <p>(挙手なし)</p>
議長	<p>よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第1号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>(全員挙手)</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、議案第1号は可決、承認されました。ありがとうございます。</p> <p>それでは日程3議案第2号「農地法第4条第1項の規定による許可申請について」を上程いたします。申請番号1番について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。事務局よりご説明いたします。議案第2号農地法第4条第1項の規定による許可申請書審議について「申請人より農地法第4条第1項の規定による許可申請があったので、その適否を諮る」とのことです。</p> <p>農地法第4条許可申請につきましても、今年度初めての議案となりますので、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>農地の転用には次の2通りがあります。①農地の権利有働を伴わない転用（農地法第4条）、②農地の権利移動を伴う転用（農地法第5条）。農地法第4条の申請は「所有者が変わらず、土地の使い方を農地以外にする」という申請です。許可権者は都道府県知事になります。総会では現地調査報告をもとにその適否を諮っていただき、県知事に意見書を送付いたします。</p> <p>それでは、議案第2号申請番号1番につきまして説明させていただきます。</p> <p>(議案書を朗読)</p>
事務局	<p>本申請について、工事資金に対しては自己資金の妻からの借り入れ、金融機関からの借り入れで賄っており、預金の残高証明書、融資証明書が添付されております。また隣接農地はすべて自己所有農地となりますので同意書の添付はありません。</p> <p>なお、本件の農地区分は、公共投資の対象にならない小集団の生産性の低い農地「第2種農地」に当たると判断されます。</p>

事務局	<p>最後に、調査地区は大河地区になります。</p> <p>以上、内容説明とさせていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。つづきまして大河地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。</p>
2 番根岸委員	<p>はい。議席番号2番根岸が報告します。5月25日土曜日、農業委員3名、推進委員2名、計5名で確認をいたしました。該当地は近くにも太陽光の許可申請が可決された場所も見受けられます。ハウスが撤去されており、更地になっております。雑草等はあるもののきれいに管理されておりました。担当地区としては問題なしと思います。また、申請人は後継者がおりません。今後のことも考えてこのような申請に至ったようです。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございました。それではこれより申請番号1番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。</p>
3 番原川委員	<p>はい。</p>
議長	<p>はい。原川委員。</p>
3 番原川委員	<p>これは何キロワットなるのでしょうか。</p>
議長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>はい。年間で約16万キロワットになる予定であるとシュミレーションより予測されております。</p>
3 番原川委員	<p>ありがとうございました。</p>
議長	<p>そのほかあるでしょうか。</p> <p>(挙手なし)</p>
議長	<p>ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。</p> <p>(挙手なし)</p>
議長	<p>ないようですので、採決に入る前に事務局より補足説明をお願いします。</p>
事務局長	<p>はい。補足説明させていただきます。地域との調和要件の中に近隣の同意、というものがあります。小川町では太陽光についてガイドラインを設けており、50キロワットを超えるものについて設置の指導要綱がございます。町としても近隣への説明などについて指導していきたいと考えております。以上です。</p>

議長

はい。ありがとうございました。

それでは採決にはいります。只今の議案第2号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長

はい。ありがとうございます。それでは賛成多数により、議案第1号は可決、承認されました。ありがとうございます。

なお、議案第2号は農地法第4条は許可権者が埼玉県知事になりますので、この議案は原案の通り許可相当として県知事に意見書を送付いたします。

つづきまして日程4 議案第3号「農地法第5条第1項の規定による許可申請について」を上程いたします。今月は2件の申請がありました。それでは申請番号1番について事務局より説明をお願いいたします。

事務局

はい。事務局よりご説明いたします。つづきまして議案第3号農地法第5条第1項の規定による許可申請書審議について「申請人より農地法第5条第1項の規定による許可申請があったので、その適否を諮る」とのことです。

命により申請番号1番について説明させていただきます。

(議案書を朗読)

事務局

なお、工事資金についてですが、申請人である法人は建設業を営んでおり、ご自分の会社で有している資材で賄うため、工事費用は発生しない、とのこと。

こちらの事業計画につきまして、補足説明をさせていただきます。

申請理由にもありました通り、鉱物倉庫として使っておりました旧法人はすでに廃業しており、この度申請人がそこを開発し、使用する計画となりました。町の開発担当にも確認しましたが、鉱物倉庫から一般倉庫への用途変更には9m道路の接道が要件となるそうです。現道(町道)は約2mのため、今回申請の農地を使って拡幅をする計画です。

また、現在の倉庫はとても使える状態ではないため、のちに敷地拡張して建て替えの計画があるようですが、敷地拡張をするにも建て替えをするにも、まずは一般倉庫に用途を変更する必要があるとのことで、今回申請を受けております。

また、県の指導では分筆後の申請をお願いしておりますが、今回の申請はまだ分筆をしておりません。しかし、すでに測量をして転用面積が確定しており、分筆の目的が立っています。申請人からは県の許可が下りるまでに分筆を完了する意向であると聞いており、その旨は許可権者窓口である農林振興センターとも協議済みであることを申し添えます。

なお、本件の農地区分は、公共投資の対象にならない小集団の生産性の低い農地「第2種農地」に当たると判断されます。

最後に調査区は、八和田地区になります。以上、内容説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

議長

ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。

12番原川委員	はい。12番大澤が報告します。5月24日金曜日、農業委員3名、推進委員5名、計8名で確認をいたしました。現地は谷あいには田があり、北側には住宅地がございました。説明にありました通り、2mを9m幅員にするということで、住居側には広げられないため農地側に、ということでした。現地は大きな木もところどころ見受けられ、長い間耕作放棄地になってしまっているようです。奥はかなり広くなっており、倉庫にすれば活用できるのではないかと思います。担当地区としては問題なしと判断しました。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
議長	はい。ありがとうございます。それではこれより申請番号1番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。
12番大澤委員	はい。
議長	はい。大澤委員。
12番大澤委員	12番大澤です。先ほどの事務局の説明の中で、倉庫所在地の大字が本申請と違うような気がしたのですが。
議長	事務局お願いします。
事務局	はい。事務局です。申請地は大字境に位置しており、3大字が入り組んでおります。倉庫が経っている部分と進入路である申請地は大字が違ってきてしまっておりますが地続きです。
12番大澤委員	ありがとうございます。
議長	ほかにご質問はあるでしょうか。
6番田端委員	はい。
議長	はい。田端委員。
6番田端委員	6番田端です。もうすでに現地にユンボが入って伐採していたように見えてましたが。
9番権田委員	はい。
議長	はい。権田委員。
9番権田委員	9番権田です。そちらにつきましては現地調査の補足として説明いたします。確かにユンボはありましたが、実際手を入れていたのは山林でした。以上です。
6番田端委員	過去には太陽光にするという計画も聞いたことがあるが。

議長	事務局お願いします。
事務局	過去にはそういった話もあったようですが、今回は一般倉庫ということで申請が出ております。
議長	ほかにありますでしょうか。 (挙手なし)
議長	ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。 (挙手なし)
議長	よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第3号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。 (全員挙手)
議長	はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、議案第1号は可決、承認されました。ありがとうございます。 つづきまして、申請番号2番について事務局より説明をお願いします。
事務局	はい。事務局よりご説明いたします。つづきまして申請番号2番について説明します。 (議案書を朗読)
事務局	こちらの案件につきましては、平成30年9月の農業委員会総会において、前農業委員会 で問題なしと判断され除外を承認した案件です。計画は当時と変わっておりません。 本申請について、工事資金に対しては自己資金で賄われ、預金の残高証明書が添付されて おります。また、今回の工事において、県道側のガードレール等撤去予定ですが、各担当と 協議済みであることを申し添えます。 なお、本件の農地区分は、公共投資の対象にならない小集団の生産性の低い農地「第2種 農地」に当たると判断されます。 最後に、調査区は八和田地区になります。 以上、内容説明とさせていただきます。
議長	ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたし ます。
9 番権田委員	議席番号9番権田が報告します。5月24日金曜日に担当地区委員8名で現地調査いたし ました。現地は小川方面から侵入するためには鋭角に入らなければなりません。申請地を利用 して拡幅したいとのことです。申請人は地元にとっても協力的な方で、工事についても地元 建設会社をお願いするとのことです。問題なしと思います。ご審議よろしく申し上げます。

- 議長 はい。ありがとうございました。それではこれより申請番号2番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。
- (挙手なし)
- 議長 ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。
- (挙手なし)
- 議長 よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第1号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。
- (全員挙手)
- 議長 はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、議案第2号は可決、承認されました。ありがとうございます。
- なお、議案第3号は農地法第5条ですので申請番号1番、2番につきましては原案の通り許可相当として県知事に意見書を送付いたします。
- つづきまして、日程5、議案第4号「農業振興地域整備計画の変更について」を上程いたします。今月は4件の申請がありました。まず申請番号1番について事務局より説明をおねがいします。
- 事務局 はい。つづきまして議案第4号 農業振興地域整備計画の変更について「小川町長から小川町農業振興地域整備計画（農用地利用計画）の変更に伴う意見を求められたので、意見の決定を諮る。」とのことです。
- 「農業振興地域内農用地区域」においては、農地転用が制限されているため、農地転用をする場合には、まずは農用地区域からの除外の手続きが必要となります。
- 「農業振興地域の整備に関する法律」施行規則第3条の2大2項の規定により、市町村は農業振興地域整備計画の変更をしようとするとき（除外するとき）は、農業委員会の意見を聞くものとするとあります。
- この度町より4件の除外案件について、当委員会に意見が求められていますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
- それでは、申請番号1番について説明いたします。
- (議案を読み上げる)
- 事務局 議案書には3筆記載させていただきましたが、実際今回除外を受ける筆はこのうち1筆になります、ほかの2筆につきましては計画地の一部ではありますが、すでに農業振興地域計画の対象外となっておりますので除外の必要がありません。
- 除外後の農地区分については、公共投資の対象にならない小集団の生産性の低い農地「第2種農地」でに当たると判断されます。
- 最後に調査区は、大河地区になります。
- 以上、内容説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

- 議長 ありがとうございます。つづきまして大河地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。
- 2 番根岸委員 議席番号2番根岸が報告します。5月25日土曜日に農業委員3名、推進委員2名、計5名で現地調査いたしました。現地は保全はされており、柿や柔らかい木が数本生えており、このまま放置されると耕作放棄地になるかなと思いました。道より低いため盛土等しないと進入できないと思われます。申請人は地元業者であり、担当地区としては問題なしと思います。ご審議よろしくお願いします。
- 議長 はい。ありがとうございました。それではこれより申請番号1番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。
- (挙手なし)
- 議長 ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。
- (挙手なし)
- 議長 よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第4号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。
- (全員挙手)
- 議長 はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、申請番号1番は可決、承認されました。ありがとうございます。
- つづきまして、申請番号2番について事務局より説明をおねがいします。
- 事務局 はい。それでは、申請番号2番について説明いたします。
- (議案を読み上げる)
- 事務局 除外後の農地区分については、概ね10ha以上の規模の一団の区域にある農地、第1種農地にあたると判断されます。
- 最後に調査区は、八和田地区になります。
- 以上、内容説明とさせていただきます。よろしくお願いします。
- 議長 ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。

8 番吉野委員	8 番吉野が報告します。5 月 2 4 日金曜日に農業委員 5 名、推進委員 3 名、計 8 名で現地調査いたしました。現地の状況ですが、耕作等はしていなく、年に数回トラクターで畑をかき回している状態です。現在の詰所の状況ですが、確かに不便な場所にあると思います。災害時、団員の自家用車を止める場所にも困っている現状です。また個人的に気になったのでホース等を洗った後の石鹸水の排水について、申請人に聞きましたところ、排水は下水になぐということで説明を受けております。担当地区としては問題なしと思います。ご審議よろしくお願いします。
議長	はい。ありがとうございます。それではこれより申請番号 2 番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。 (挙手なし)
議長	ないようですので、それでは推進委員のみなさんでしょうか。 (挙手なし)
議長	よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第 4 号申請番号 1 番について承認に賛成の方の挙手を求めます。 (全員挙手)
議長	はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、申請番号 2 番は可決、承認されました。ありがとうございます。 つづきまして、申請番号 3 番について事務局より説明をおねがいします。
事務局	はい。それでは、申請番号 3 番について説明いたします。 (議案を読み上げる)
事務局	除外後の農地区分については、概ね 1 0 ha以上の規模の一団の区域にある農地、第 1 種農地にあたると判断されます。 最後に調査区は、八和田地区になります。 以上、内容説明とさせていただきます。よろしくお願いします。
議長	ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。
7 番田中委員	7 番田中が報告します。5 月 2 4 日金曜日に農業委員 5 名、推進委員 3 名、計 8 名で現地調査いたしました。現地の状況は畑で、自宅用野菜を栽培しており、排水は集落排水です。担当地区としては問題なしと思います。ご審議よろしくお願いします。

議長	<p>はい。ありがとうございます。それではこれより申請番号3番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手なし)</p>
議長	<p>ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。</p> <p>(挙手なし)</p>
議長	<p>よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第4号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>(全員挙手)</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、申請番号3番は可決、承認されました。ありがとうございます。</p> <p>つづきまして、申請番号4番について事務局より説明をおねがいします。</p>
事務局	<p>はい。それでは、申請番号4番について説明いたします。</p> <p>(議案を読み上げる)</p>
事務局	<p>こちらについて、少し補足説明をさせていただきます。分家住宅の住宅敷地は500㎡までとされております。今回の申請は523㎡になりますが、23㎡につきましては、セットバック部分等であり、住宅敷地には含まれません。除外内訳としては500㎡が住宅敷地、23㎡はその他の敷地として申請されております。</p> <p>除外後の農地区分については、概ね10ha以上の規模の団体の区域にある農地、第1種農地にあたると判断されます。</p> <p>最後に調査区は、八和田地区になります。</p> <p>以上、内容説明とさせていただきます。よろしくお願いします。</p>
議長	<p>ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。</p>
7 番田中委員	<p>7 番田中が報告します。5 月 2 4 日金曜日に農業委員 5 名、推進委員 3 名、計 8 名で現地調査いたしました。現地の状況は畑で、耕耘してあり、排水は集落排水とのことです。分家住宅で担当地区としては問題なしと思います。ご審議よろしくお願いします。</p>
議長	<p>はい。ありがとうございます。それではこれより申請番号4番について質疑をお受けいたします。まずはじめに農業委員のみなさんの質問意見を伺います。質問、意見のある方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手なし)</p>

議長

ないようですので、それでは推進委員のみなさんどうでしょうか。

(挙手なし)

議長

よろしいですか。ないようですのでそれでは採決にはいります。只今の議案第4号申請番号1番について承認に賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

議長

はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、申請番号4番は可決、承認されました。ありがとうございます。

つづきまして、日程6、新規就農者の承認について事務局より説明をおねがいします。

事務局

はい。それでは、議案第5号、新規就農者の承認について「新規就農希望者より申請があったためその承認を求める」とのことです。

議案の説明をする前に新規就農者の承認につきましてご説明いたします。本日お配りした資料をご覧ください。こちらは当農業委員会で新規就農について定めている内規です。資料3枚目、「小川町の農業委員会における判断基準」をご覧ください。「農地法の規定を受け、必要事業面積を取得（利用権）後に適正に耕作できるかどうかを審議する」とあります。

(資料よみあげ)

みなさまにはこちらの判断基準にしがたって審議していただきます。

最後に、新規就農時、当初3年間は30aの利用権設定による耕作を条件としています。八和田地区においてはその後3年後を目途に50aまで経営農地を増やしていただきます。

青年就農給付金準備型は2年間の給付となっております。通常は小川町でおおむね3年以上の農業経験をもって新規就農申請をすることができますが、準備型の給付を受けている場合は最短2年で申請をできるという例外がございます。

それでは、以上を踏まえまして申請番号1番について、議案書の朗読をもって説明いたします。

(議案を読み上げる)

事務局

農業経験については、2017年3月に埼玉県農業大学校（有機農業専攻）を卒業され、その後、株式会社風の丘ファームで一年間の研修を経て、現在の埼玉県農林公社の「明日の担い手育成公社塾」に入塾されております。公社塾からは、今年の7月19日で卒業見込みであるという旨の通知をもらっております。町内における経験年数は約2年となります。

また、平成29年5月より平成31年5月まで国費における新規就農対策青年就農給付金準備型を受けておりましたので、先ほど説明しました例外に該当し、今回申請となりました。

今回記載の5筆につきましては、今月利用権設定を提出予定です。

最後に調査区は、八和田地区になります。

以上、内容説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。

議長	ありがとうございます。つづきまして八和田地区の委員より現地調査報告をお願いいたします。
4 番田下委員	4 番田下が報告いたします。5 月 2 4 日金曜日、農業委員 5 名、推進委員 3 名、計 8 名で現地調査を行いました。本人に聞き取りをすることができました。圃場は平場が 2 筆、ほか 3 筆についても草刈管理はしておりました。マルチをはってなす、とまとなどを栽培しておりました。健康に問題はなく、頑張っていてもらえるかなと思います。以上、報告いたします。
議長	ありがとうございました。それでは質疑にはります。まずはじめに農業委員の方、なにかご意見がございますか。 (質疑なし)
議長	ありがとうございます。それでは推進委員の方、いかがでしょうか。 (質疑なし)
議長	他に質疑がないようですので、採決にはいります。申請番号 1 番について承認に賛成の方の挙手を求めます。 (全員挙手)
議長	はい。ありがとうございます。それでは全員賛成により、可決、承認されました。ありがとうございます。 つづきまして、日程 7、報告第 1 号「農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による届出について」、今月は 1 件の届出がありました。事務局より報告をお願いします。
事務局	はい。報告第 1 号 農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による届出について「申請人より農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による届出があったので報告する。」とのことで報告いたします。 (申請番号 1 番について順に読み上げる)
事務局	以上、報告いたします。
議長	はい。ありがとうございました。 それでは、「その他」について、なにかありますか。
事務局	はい。
議長	はい。事務局、お願いします。

事務局

資料の「令和元年度の目標及びその達成に向けた活動計画」「平成 30 年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」をご覧ください。

従前までは議案としてあげていましたが、概ね結果がメインということになりますので、今年度から事務局から提案という形にさせていただきます。

表につきましてはメインは農業センサス（5 年に 1 度の調査）の数字を使わせていただいております。他の数字については毎年変動しております。事務局のほうで把握している数字を入れておりますのでご確認をお願いします。

（資料説明）

何か質問があれば受け付けます。

議長

ありがとうございました。何か質問等ありますか。

（挙手なし）

議長

ありがとうございました。

その他議題として取り上げることはございますか。

（挙手なし）

議長

特にないようですので、以上で本日の日程はすべて終了しました。これをもちまして令和元年 5 月第 3 回小川町農業委員会総会を閉会いたします。閉会時間は午後 4 時 50 分です。